

## 柳大使の公立学校(UNICEFによる水・衛生(WASH)事業)視察

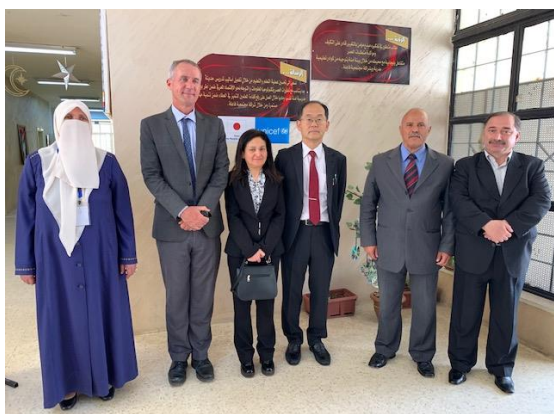
2019/5/1

5月1日、柳大使は、UNICEF が日本の支援を受けて、水・衛生(WASH)事業を実施するアンマン市南東にあるプリンセス・サルマ公立学校を訪問しました。同校では、午前中はヨルダン人、午後はシリア人シフトのダブルシフトで授業を実施しており、水・衛生インフラの整備が喫緊の課題となっています。

我が国は、平成30年度補正予算により、UNICEF 事業「ヨルダンにおける脆弱な女性及び少女の強靱性強化に関するセクター横断的対応」に対し、約180万 USD を支援しており、その一部で同校のトイレ及び手洗い施設の改修を実施する予定です。

柳大使は、学校到着後、オデ(Ms.Laila Odeh)校長及びジェンキンス UNICEF 代表(Mr. Robert Jenkins)と懇談し、その後、今後改修予定の水関連設備とともに、水・環境教育の授業視察も行いました。

オデ校長をはじめ、同校関係者及び多くのUNICEF 関係者より、我が国の支援に対する謝意が繰り返し表明されました。



UNICEF, 教育省, 学校関係者との記念撮影



生徒らによる歓迎



環境教育の授業視察後の記念撮影

